

帯広市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

帯広市は北海道東部の十勝地方のほぼ中央に位置し、面積619.34平方キロメートル、人口は約16万5千人の農業を主要産業とする十勝地方の中心都市である。
市内の公共交通機関は、市街地においては、十勝バス株式会社及び北海道拓殖バス株式会社が路線バスを運行するほか、農村部においては、大正交通有限会社及び毎日交通株式会社が予約式デマンド型交通である大正地区乗合タクシー・川西地区乗合バスを運行しており、特に定時定路線の路線バスが存在しない農村部において、市街地と農村部を安心・安全に結ぶ移動手段として、生活に欠かせない交通機関となっている。しかし、広大な運行区域をカバーするため経費が営業収益を大きく上回る状況にあることから、地域住民の買物や通院などの日常生活の移動確保や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援などを図るため、帯広市内における生活交通手段を維持・確保しつつ、収支改善に向けた利用者増加の取組みを進めながら、住民の生活の足としての公共交通を維持していく必要がある。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ①帯広市街地便の年間利用者数 令和3年度 3,061人(1便あたり3.3人)
- ②大正地区内巡回便の年間利用者数 令和3年度 952人(1便あたり2.6人)
- ③八千代線の年間利用者数 令和3年度 5,220人(1便あたり4.0人)
- ④戸蔦線の年間利用者数 令和3年度 4,566人(1便あたり3.8人)

令和3年度事業概要

- 帯広市街地便 運行区域:大正地区～愛国町～帯広厚生病院
運賃:400～1,000円、平日(月～金)運行 1日7便
実績運行回数:894回
- 大正地区内巡回便 運行区域:大正地区
運賃:500円 平日(月～金)、土曜運行 1日5便
実績運行回数:227回

- 八千代線 運行区域:八千代地区～川西市街～帯広厚生病院
運賃:300～1,000円、平日(月～金)運行 1日7便
実績運行回数:1,228回
- 戸蔦線 運行区域:戸蔦地区～川西市街～帯広厚生病院
運賃:300～1,000円、平日(月～金)運行 1日7便
実績運行回数:1,138回

地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(帯広駅、柏林台駅、西帯広駅)
- ・路線バス
十勝バス(株)、北海道拓殖バス(株)市内41系統
- ・農村部デマンド交通
大正交通(有)、毎日交通(株)市内4系統

協議会開催状況

- 【令和3年5月7日 令和3年度第1回会議】
・大空地区乗合タクシー「おおぞライナー」の運行計画変更について
- 【令和3年6月7日 令和3年度第2回会議】
・帯広市内運行路線の一部路線廃止を伴う運行計画変更について
- 【令和3年6月23日 令和3年度第3回会議】
・帯広市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
・大空地区乗合タクシー「おおぞライナー」の運行計画変更について
- 【令和4年1月17日 令和3年度第4回会議】
・帯広市地域内フィーダー系統確保維持改善事業の評価について

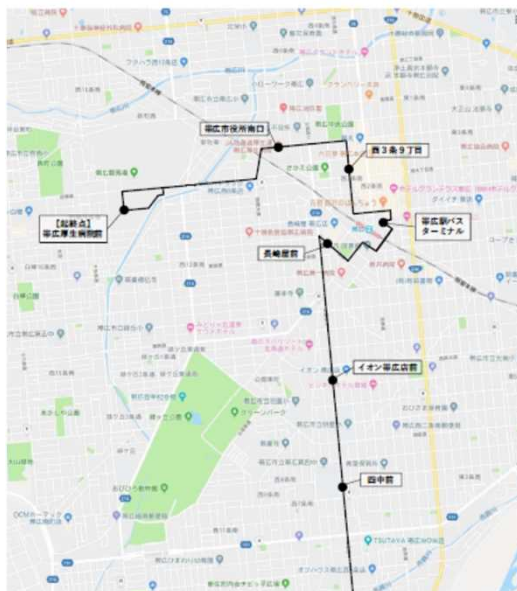
令和3年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

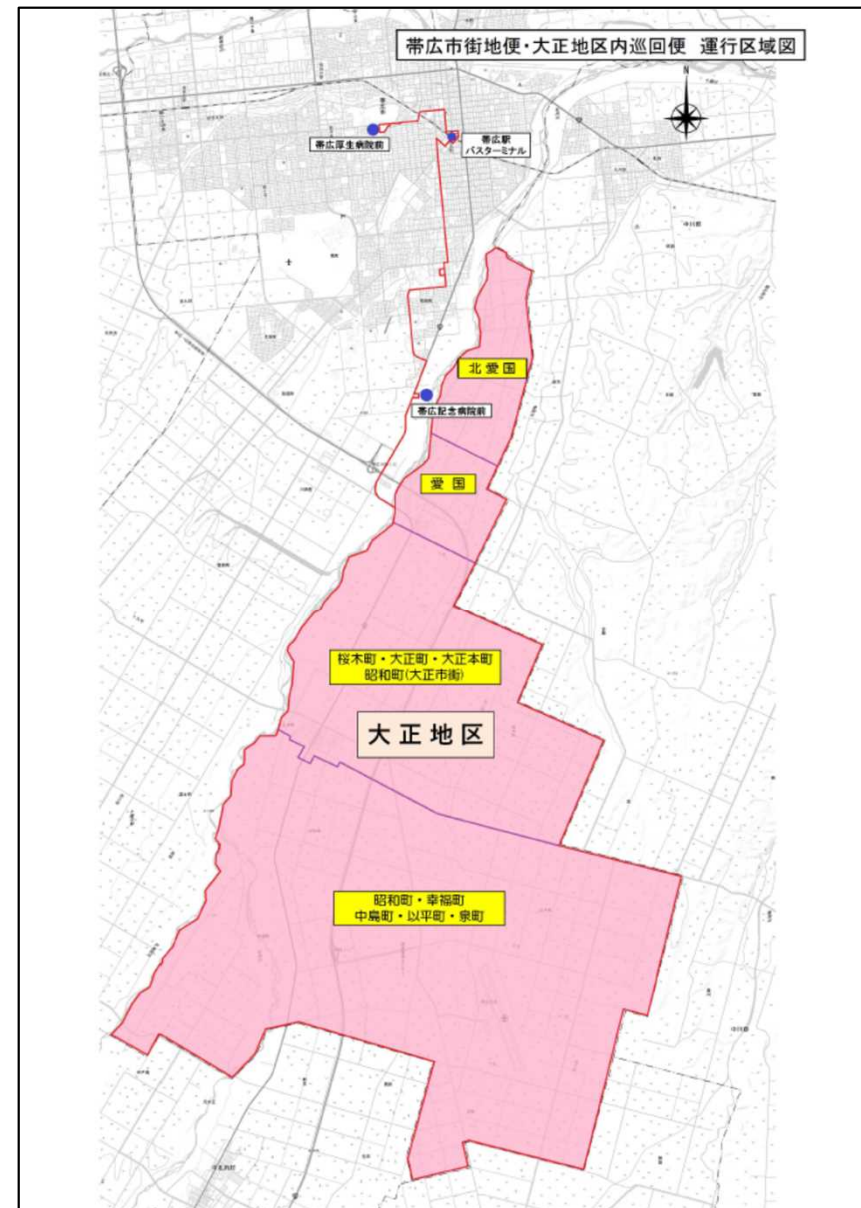
- ・利用登録者への登録証・時刻表収納ポーチの配布
- ・帯広市及び運行事業者ホームページでの周知
- ・インターネット予約受付の実施

2) 運行系統

路線図「帯広市街地便」No.1



路線図「帯広市街地便」No.2

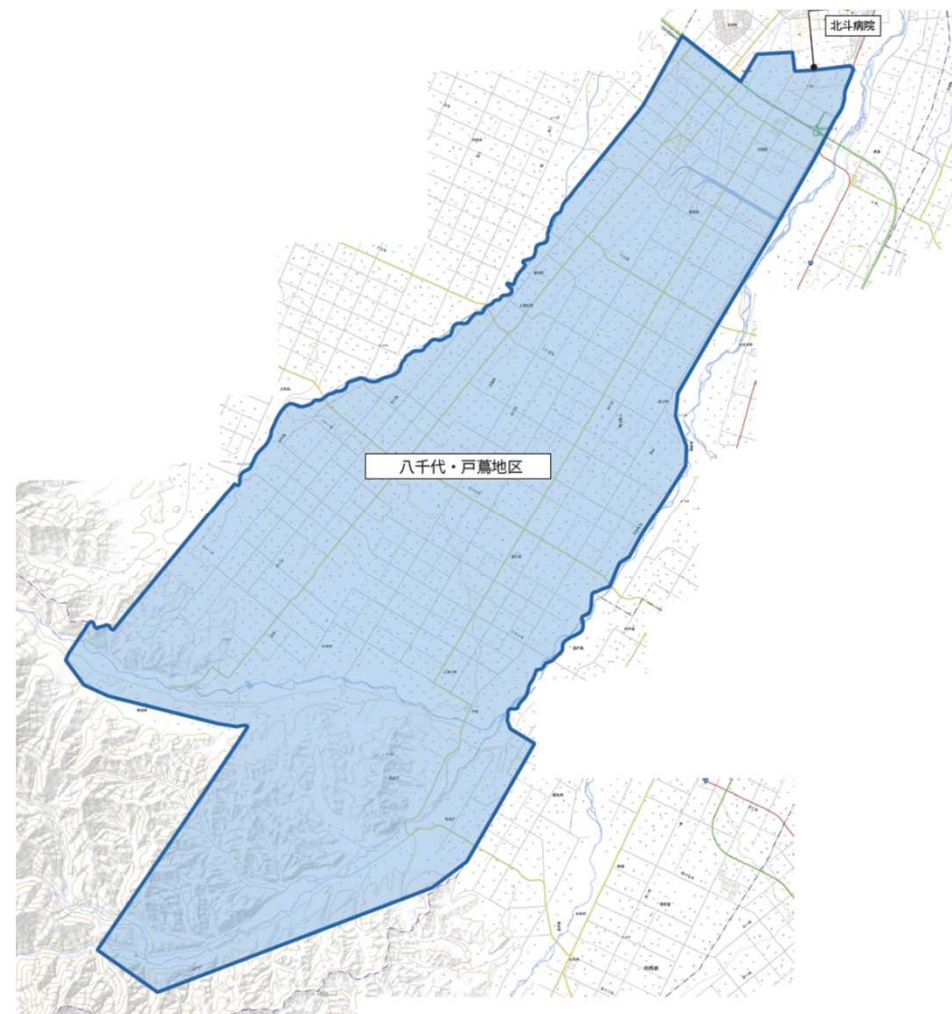


令和3年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

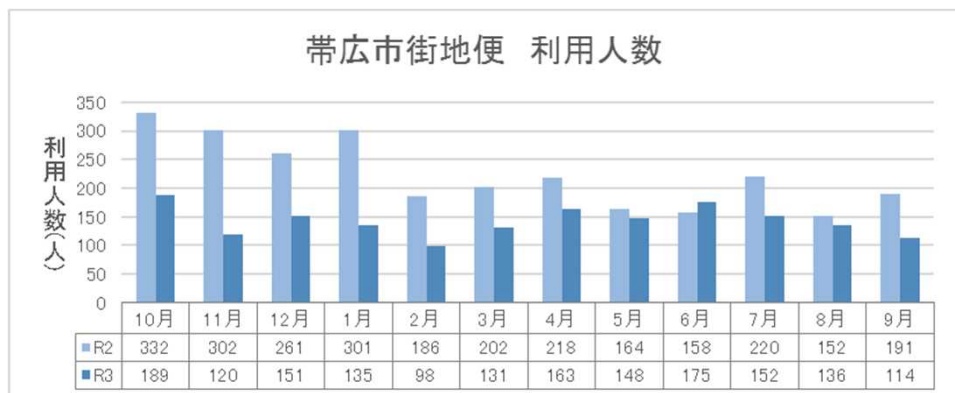
- ・地域の中学校との連携による利用者登録・予約にかかる負担軽減(学校を通じた予約)
- ・帯広市及び運行事業者ホームページでの周知
- ・インターネット予約受付の実施

2) 運行系統



3) 利用実績

●帯広市街地便



・R2(R1.10~R2.9):2,687人

・R3(R2.10~R3.9):1,712人

4) 収入実績

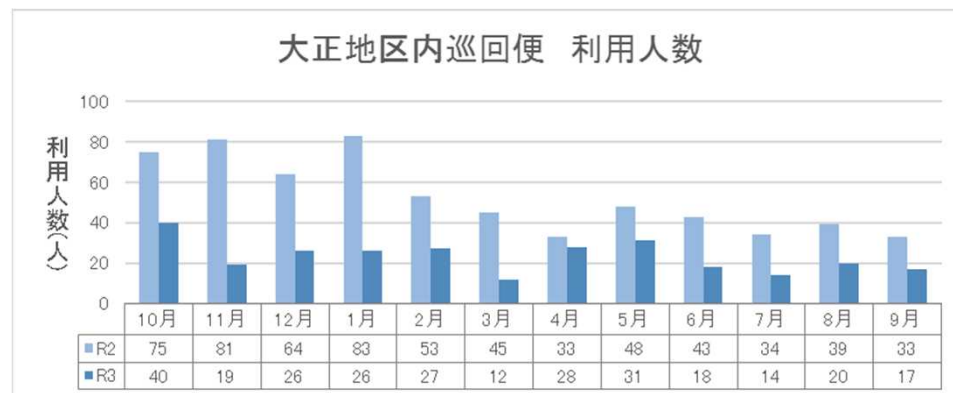
●帯広市街地便



・R2(R1.10~R2.9):2,586,147円

・R3(R2.10~R3.9):2,645,693円

●大正地区内巡回便



・R2(R1.10~R2.9):631人

・R3(R2.10~R3.9):278人

●大正地区内巡回便

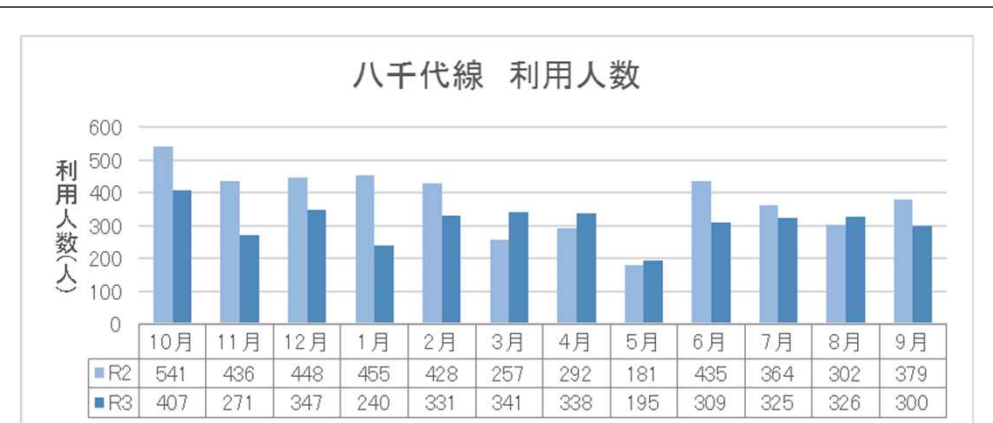


・R2(R1.10~R2.9):424,761円

・R3(R2.10~R3.9):333,623円

3) 利用実績

●八千代線

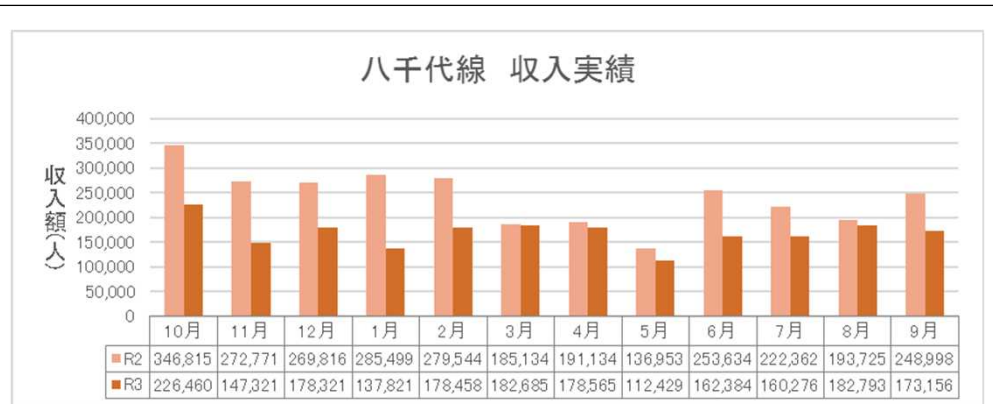


・R2(R1.10~R2.9):4,518人

・R3(R2.10~R3.9):3,730人

4) 収入実績

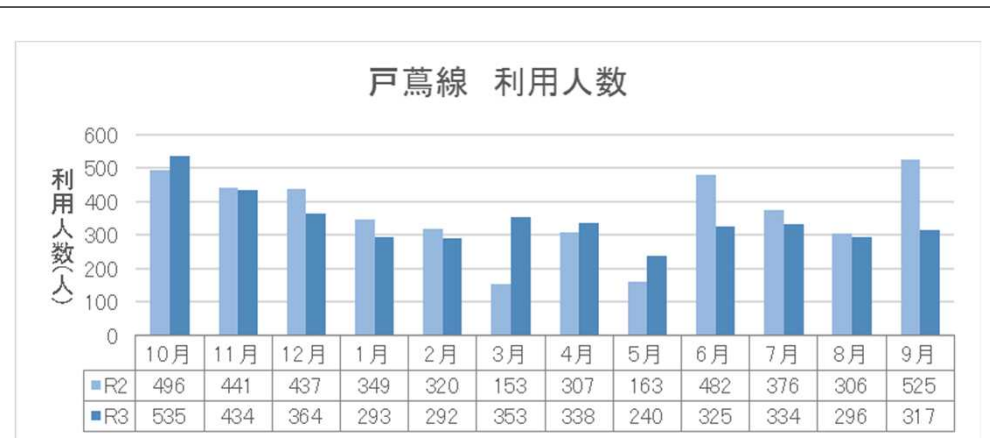
●八千代線



・R2(R1.10~R2.9):2,886,385円

・R3(R2.10~R3.9):2,020,669円

●戸蔭線



・R2(R1.10~R2.9):4,355人

・R3(R2.10~R3.9):4,121人

●戸蔭線



・R2(R1.10~R2.9):2,590,979円

・R3(R2.10~R3.9):2,082,784円

5) 事業実施の適切性

帯広市街地便、大正地区内巡回便、八千代線、戸蔦線
ともに計画通り事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

【帯広市街地便】

昨年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により主な利用者である高齢者の外出控え（通院等の自粛など）による利用者数の大幅な減少が継続していることから、年間年間利用者数は目標3,061人（1便あたり3.3人）に対し1,712人（1便あたり1.9人）であった。

【大正地区内巡回便】

昨年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により主な利用者である高齢者の外出控え（通院等の自粛など）による利用者数の大幅な減少が継続していることから、年間利用者数は目標952人（1便あたり2.6人）に対し278人（1便あたり1.2人）であった。

【八千代線】

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言期間中、中学校の部活動が原則中止となり、学生の利用が一時的に無くなったことや、高齢者の外出控え（通院等の自粛など）により利用者数が落ち込み、年間利用者数は目標5,220人（1便あたり4.0人）に対し3,730人（1便あたり3.0人）であった。

【戸蔦線】

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言期間中、中学校の部活動が原則中止となり、学生の利用が一時的に無くなったことや、高齢者の外出控え（通院等の自粛など）により利用者数が落ち込み、年間利用者数は目標4,566人（1便あたり3.8人）に対し4,121人（1便あたり3.6人）であった。

7) 事業の今後の改善点

【帯広市街地便・大正地区内巡回便・八千代線・戸蔦線】

引き続き車内の消毒や換気等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底するとともに、利用者に安心して利用してもらえるよう、特に主な利用者である高齢者を対象として、感染防止対策の取り組みや利用方法等について周知することにより、利用離れからの回復を目指す。

8) 地方運輸局における二次評価結果

（令和4年度分と併せて評価）